

# NUBIC知的財産情報開示

開示日: 2003年12月15日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2003000068"/>	整理番号 <input type="text" value="10578"/>	担当者 <input type="text" value="齋藤 光史"/>	
表題	酵素反応を利用したキトサンによるフェノール系化合物の吸着除去			
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/>	<input type="text" value="生活・文化"/>	<input type="text" value="食品・バイオ"/>	<input type="text" value="環境"/>
適応製品	水質浄化, 分離技術(フェノール系化合物の除去)			
目的	種々の工業分野からの排水に含まれるフェノール及びその誘導体の分解除去において酸化還元酵素であるチロシナーゼとアミン基含有高分子であるキトサンの併用によってフェノール系化合物を効率的かつ低コストで吸着除去する処理技術を提供する。			
技術概要	酸化還元酵素であるチロシナーゼによってフェノール系化合物をo-キノン化合物に酸化させ、フィルム状のキトサンに吸着させることによってフェノール系化合物を水系から除去することができ、ビーズ状キトサンを用いると、キノン化合物の吸着は更に向上する。また、過酸化水素の存在下で酵素反応を示す系(例えば、4-tert-ブチルフェノール)においても吸着除去が可能であり、フェノール系化合物を効率よく除去できるだけでなく、キトサンの再利用の点からも有効な手法である。 チロシナーゼの濃度が比較的low、キトサンを吸着剤として用いるので、低価格で効率よくフェノール化合物をキノン化合物へ酸化させ、吸着除去できる。この手法は、p-及びm-クレゾール、アルキルフェノール、カテコール、ハロゲン化フェノールなどに対して有効である。			

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を申し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【 申込み・問い合わせ先 】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL: 03-5275-8139 FAX: 03-5275-8328 e-mail: nubic@adm.nihon-u.ac.jp